

令和5年度岡山県立林野高等学校学校評価書

校 長 竹 内 稔

1 学校自己評価について

・評価結果

別紙「令和5年度 岡山県立林野高等学校具体的な学校経営目標・計画」参照

2 学校関係者評価について

(1) 学校運営協議会委員名

井口 博文（美作市教育委員会 学校教育課長）	中西 竜太（ウェブおかやま 代表取締役）
渡邊 祥子（美作市市役所 企画振興部 営業課）	杉浦 剛（Google for Education営業統括本部 部長）
金島久美子（美作市立大原小学校 校長）	上原 正之（元本校教頭）
忠政 勇之（美作市立美作中学校 校長）	下山 祐美（PTA会長）
小林 朋道（鳥取環境大学環境学部 学部長）	主原 啓隆（同窓会副会長）
白沢 健二（白沢プランニング 代表取締役）	竹内 稔（校長）
西山 勝（西山工務店 代表取締役）	

(2) 学校関係者評価について

学校運営協議会における学校関係者評価として、委員から指摘いただいた主な点は、次の通りである。

- ① DXによる成果の（生徒の変容や、職場の改善）「見える化」
- ② 継続的な異校種間連携の立ち上げ
- ③ 地元中学校との連携可能性の模索と実行
- ④ 地元企業・商工会議所とタイアップした講演・実習の開催
- ⑤ 学校運営協議会のDX化

3 来年度の重点目標（案）について

学校評価書等をふまえて、来年度の重点目標（案）は次のとおりである。

- ICT教育トップランナー校として、さまざまな場面でICTを活用し、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- 資質・能力の育成を基盤とした授業改善を進め、個別最適な指導を行う。
- 生徒自身が主体的、計画的に取り組む活動等を展開する。
- 生徒自身が社会との関わりの中で、自らの生き方を考え進路を実現することができるように指導する。
- 「開かれた学校」の観点から、小中学校・地域との連携や姉妹校との国際交流などを通じて生徒の豊かな人間性を育成する。
- 組織的で効率的な学校経営や個人の意識改革を進め、業務の負担軽減を図る。